

教職員のみなさまへ

ふくせき制度にもとづく 交流及び共同学習

～認め合い 支え合い 学び合う姿を求めて～

ふくせき制度,

交流及び共同学習について

一緒に考えてみませんか！





ふくせき制度にもとづく
交流及び共同学習って なんだろう??

特別支援学校に通う子どもたちが、
自分たちが住んでいる校区の小中学校
で同年代の子どもたちと一緒に学習す
ることだよ。



えっ！ふたつの学校に通うの？

主に通うのは特別支援学校だけど、年に何回か、地
域の小中学校で交流を行うんだ。小中学校での学習や
活動の内容は特別支援学校の子どもたちに応じて一人
ひとり違うんだよ。



どうしてふくせき制度にもとづく
交流及び共同学習をするの？

ふくせき制度にもとづく交流及び共同学習を行うことで
特別支援学校の児童生徒はもちろん、小中学校の児童生徒や
子どもたちを取り巻く大人、地域にとってもいいことがあるんだよ。
例えば、次のようなことが考えられるよ。



- 特別支援学校の児童生徒にとっては、
地域とのつながりができるとともに、社会性が育つこと
- 小中学校の児童生徒にとっては、
障がいについて正しい理解と認識を深めることができ、
互いを正しく理解し共に助け合い支え合って生きていくことの大切さを
学ぶことができること
- 子どもをとりまく大人や地域にとっては、
特別支援教育や障がいについての正しい理解と認識を深めることができ、
誰もが生活しやすい地域づくりのきっかけとなること



お互いを知り合い、理解することが、誰もが生活しやすい社会につながっていくんだね。

お互いを知り合うためには、実際にかかわりをもつことが大切となってくるんだ。そして、それは早い段階から行うことで、より深く知り合うことができるんだよ。

「ふくせき制度」を利用することで、交流が地域にも広がっていくんだよ。



そうか。だから、ふくせき制度にもとづく交流が必要なんだね。交流には、どんなやり方があるの？

ふくせき制度にもとづく交流は「居住地校交流」と言い、それ以外の交流の形として、学校での交流と地域との交流があるよ。

★学校での交流としては、

○近隣校交流・・・特別支援学校が所在する近隣の小中高等学校等との交流

○学校内交流・・・同一校内での特別支援学級と通常の学級との交流

★地域との交流としては、

○地域交流・・・特別支援学校が所在する地域の町内会や子ども会等
様々な団体との交流や地域ぐるみでの交流

○居住地交流・・・障がいのある児童生徒が居住している地域での活動に参加する交流

交流には、直接かかわる「直接的な交流」と作品などの交流を通して間接的にかかわる「間接的な交流」があるんだ。

単発的なかかわりではなく、「直接的な交流」と「間接的な交流」の両方を用いながら継続的に交流を行うことが大切だよ。



よ～し！ できることから交流をはじめてみよう！



福岡市では「ユニバーサル都市福岡～みんながやさしい、みんなにやさしい～」まちづくりをめざしています。そのためには、「相手の立場を尊重する心」が重要です。

相手の立場を尊重するためには、お互いを知り合い、理解し合うことが必要です。

特別支援学校に通う児童生徒は、地域とのつながりが薄くなりがちです。しかし、子どもたちは今もこれからも、地域で生活していきます。学校を卒業した後は、地域で暮らす時間がほとんどです。その時、つながりをもとうとしても難しい場合もあります。早い段階から地域とのつながりをもつことが必要です。

ふくせき制度にもとづく交流によって地域とのつながりの第一歩を踏み出し、お互いを知り合い、理解し合うことで、障がいの有無にかかわらずお互いが認め合い、支え合い、学び合うことができるように願っています。

